

タクシー向けWi-Fiホットスポットを実現するLTEルーター

概要

- ☑ タクシーは世界中で日常的に利用されており、1日あたり何千人もの利用者を抱える主要な交通手段です。サービスの差別化が求められる中、「快適さ」は顧客に選ばれる上で大きな決め手となっています。
- ☑ 快適な移動を実現するには、安定したWi-Fi接続が不可欠です。これを実現するには、信頼性の高いネットワーク機器が必要です。
- ☑ そこで選ばれたのが、テルトニカの「RUT906」でした。このルーターは正確なGNSS位置情報取得、リモート管理・アクセス機能を兼ね備え、スムーズで安定したWi-Fiホットスポットを提供できます。

課題 – スムーズで安定した通信の実現

都市部では日中・夜間を問わず多くの人がタクシーを利用しています。実際、世界のタクシー市場は[2022年に2,031億6,000万ドル](#)となり、2031年には6,181億1,000万ドルに達すると予測されています（年平均成長率13.16%）。

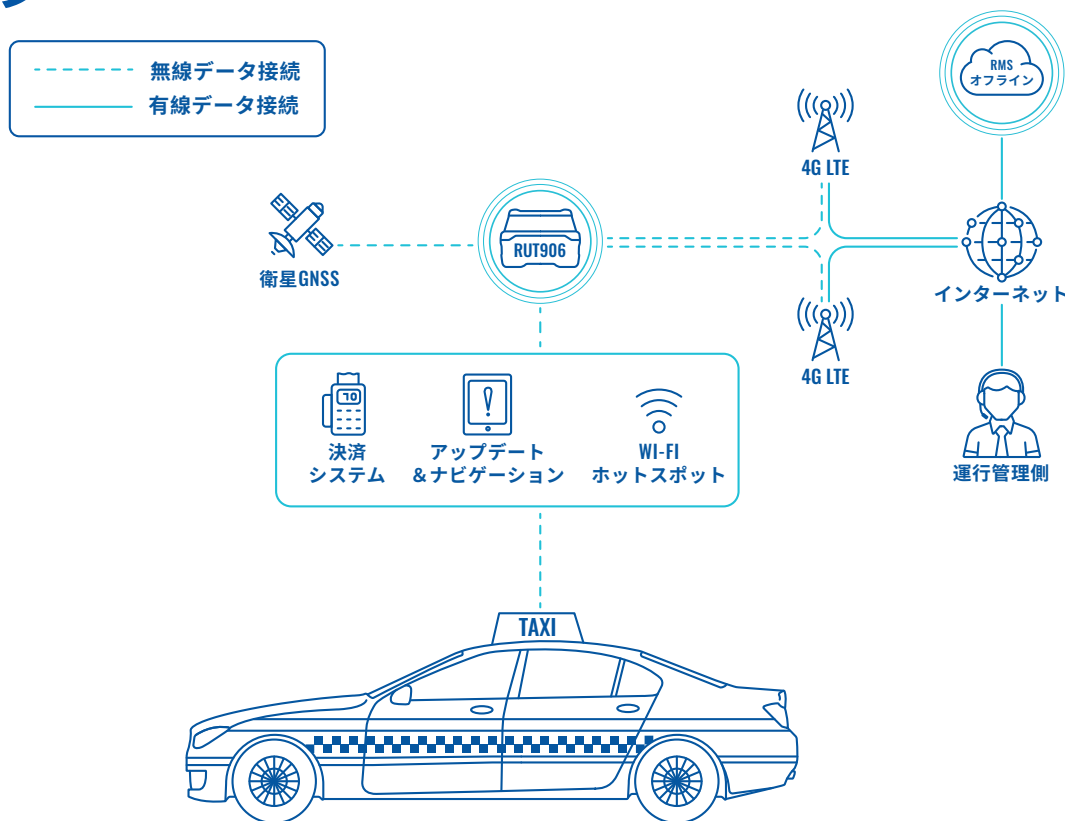
タクシー利用者は「最短で目的地に移動する」以上のことを期待しています。「車内の清潔さ」や「運転手の丁寧な対応」はもちろんのこと、「車内でWi-Fiを使って快適に過ごせるか」が選ばれる大きな要素となっています。

一方、ドライバーや運行管理部門にとっても信頼性の高いネットワーク通信は必須です。タクシーの現在位置を正確に把握することで、車両の動態管理やルートの最適化、走行効率の向上が可能になるからです。

しかし、都市部では高層ビルや電波干渉が多く、ネットワーク通信が不安定的になりがちなのが難点です。このような状況でもネットワーク接続を維持し、乗客と運営側の双方に信頼性の高いサービスを提供するには、堅牢なネットワーク機器が必要不可欠です。

テルトニカの「RUT906」は、まさにその要件を満たす製品となります。

トポロジー



ソリューション—テルトニカのLTEルーター「RUT906」

「RUT906」は、デュアルSIM機能対応の高信頼性・高耐久性を備えたLTE Cat 4ルーターです。ホットスポット機能が備わっており、乗客はタクシー車内で快適にWi-Fiネットワークを利用することができます。

また、テルトニカのIoTプラットフォームである「[RMS \(リモート・マネジメント・システム\)](#)」に対応しているため、運行管理側はこのルーターをリモートで監視・集中管理することが可能です。ネットワークの不具合への対応やファームウェアのアップデートも遠隔から行えるため、コスト効率・運用効率の向上が期待できます。

さらに、LTEルーター「RUT906」にはSIMスロットが2つあり、異なる通信キャリアのSIMカードを併用することで、いずれかの回線に障害が発生しても自動で切り替え、安定したネットワーク通信を保ちます。

これで終わりではありません。[自動フェイルオーバー](#)機能も搭載しており、プライマリ回線が不安定または利用不可となった場合に、自動的にバックアップ回線へと切り替わります。WANバックアップ機能も搭載されており、複数のインターネット回線の中から、状況に応じて最適な接続先を選択できるのも特徴です。

これらの機能により、手動操作なしで常時通信を維持し、万が一の障害時にもスムーズな運用が期待できます。最後に忘れてはいけないのが、「RUT906」には[GNSS](#) (全地球測位衛星システム) 機能が搭載されており、正確な位置情報を取得できることです。

GNSSによって機器の位置情報だけでなく時刻同期情報を取得でき、これをタクシーの現在位置の特定や運行管理システムとの連携に活用します。これにより、ルート最適化やリアルタイムの車両追跡が可能となり、運行効率の大幅な向上が期待できます。

